

IDC Security and Trust Forum 2026, Japan

比類なきサイバーレジリエンスの実現と AI対応エンタープライズデータの融合へ

2026年4月15日

コヒシティジャパン合同会社

COHESITY

本日の内容

1. AIを活用したデータセキュリティのリーダーコヒシティとは？
2. 企業が直面する復旧できない現実、教訓
3. サイバーレジリエンスを強化するための具体的なアプローチ
4. サイバーレジリエンスのその先へ
AI時代に考慮すべきレジリエンス戦略

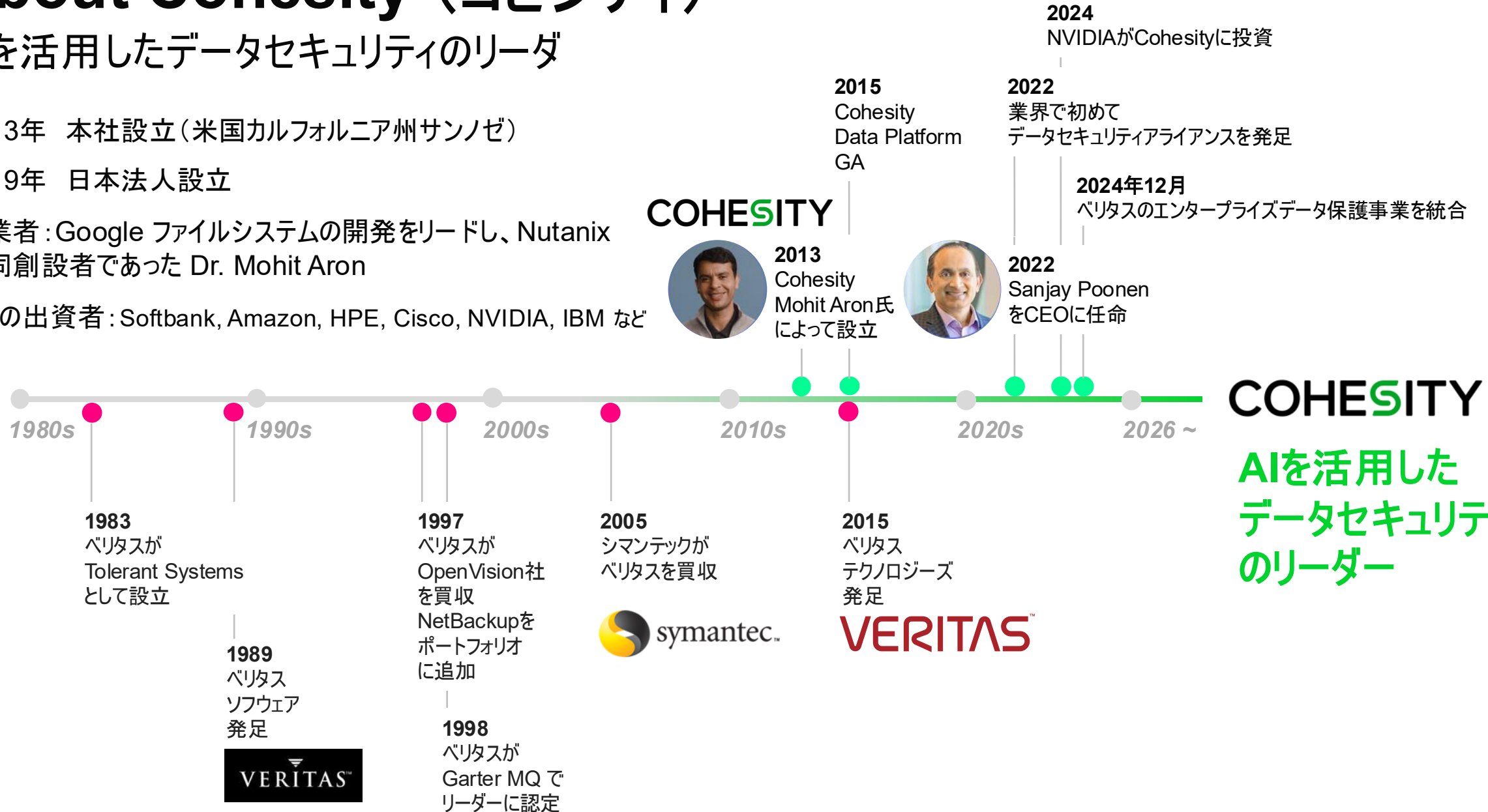
本日の内容

1. AIを活用したデータセキュリティのリーダーコヒシティとは？
2. 企業が直面する復旧できない現実、教訓
3. サイバーレジリエンスを強化するための具体的なアプローチ
4. サイバーレジリエンスのその先へ
AI時代に考慮すべきレジリエンス戦略

About Cohesity (コヒシティ)

AIを活用したデータセキュリティのリーダー

- 2013年 本社設立(米国カリフォルニア州サンノゼ)
- 2019年 日本法人設立
- 創業者: Google ファイルシステムの開発をリードし、Nutanix 共同創設者であった Dr. Mohit Aron
- 多くの出資者: Softbank, Amazon, HPE, Cisco, NVIDIA, IBM など



日本法人名をより親しみやすい日本法人社名に変更

COHESITY

Cohesity Japan 株式会社

VERITAS™

ベリタステクノロジーズ合同会社



COHESITY

コヒシティジャパン合同会社

本日の内容

1. AIを活用したデータセキュリティのリーダーコヒシティとは？
- 2. 企業が直面する復旧できない現実、教訓**
3. サイバーレジリエンスを強化するための具体的なアプローチ
4. サイバーレジリエンスのその先へ
AI時代に考慮すべきレジリエンス戦略

重大なサイバー攻撃：現代ビジネスにおける新たな現実



こうした影響の大きい攻撃は、日本ではもはや例外的な出来事ではありません。



64%

深刻なサイバー攻撃を受けたことがある

45%

過去12ヶ月間に被害に遭遇

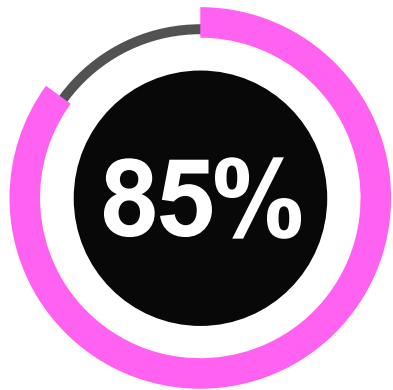
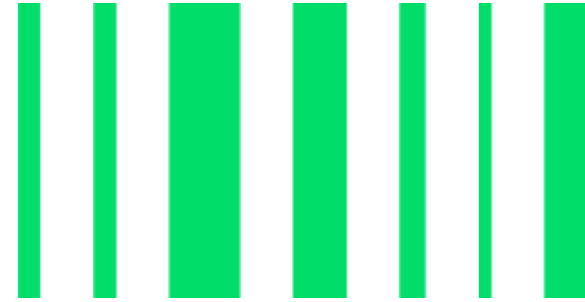
23%

過去12ヶ月間に複数回の攻撃を受けたことがある

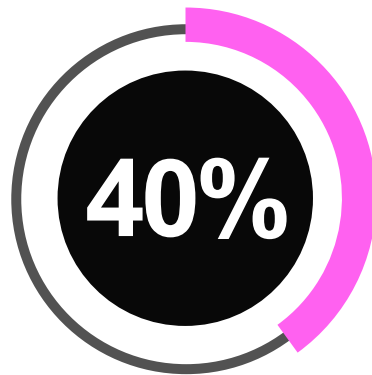
サイバーレジリエンスレポート

グローバルのITおよびセキュリティ運用企業の意思決定者
約3,200名（日本：400名）を
対象に実態調査を実施

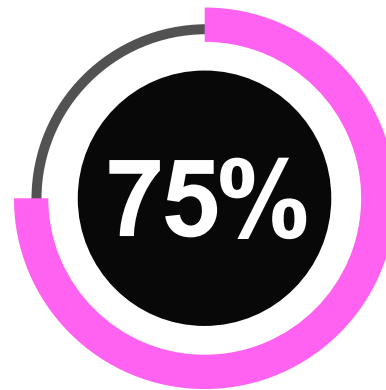
日本でもサイバーレジリエンス強化 が大きな課題



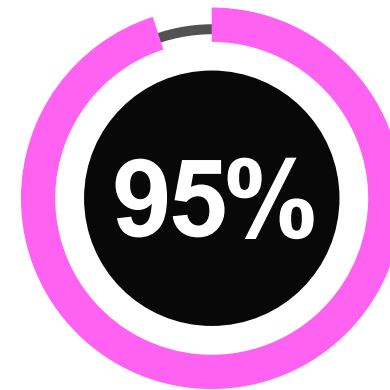
収益を損失:



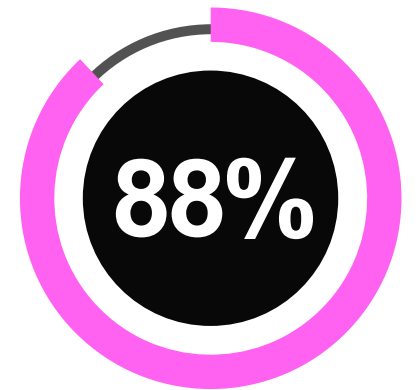
顧客を損失:



上場企業で
やむを得ず
財務見直しを修正:



法律や規制上
の影響に直面:



過去12ヶ月間で
身代金支払い
が発生

明らかな証拠があるにも関わらず、
多くの組織は自らのレジリエンスを過信

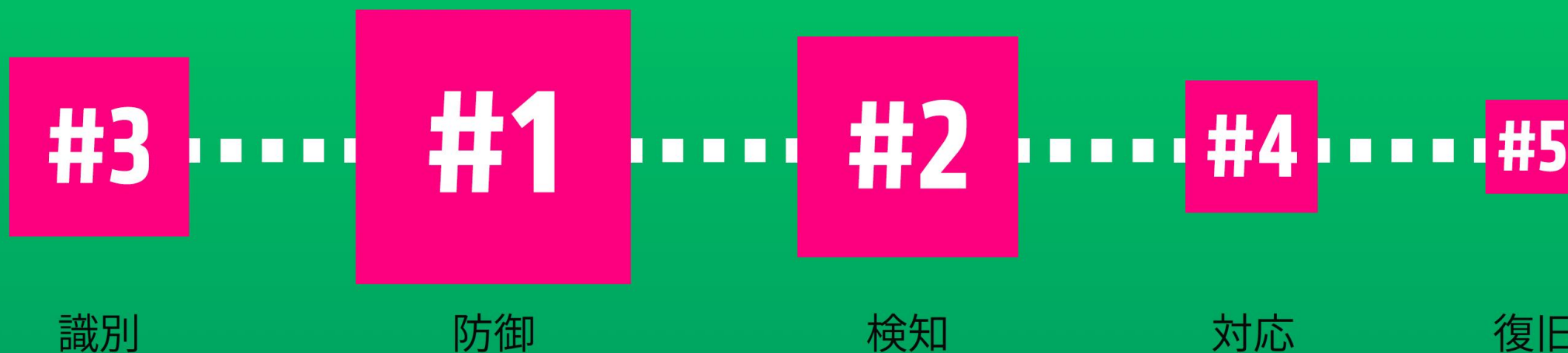


42%

自社のサイバーレジリエンス戦略を
完全に信頼:

未だに大半の組織は、対応と復旧も同じくらい重要な機能であるにもかかわらず、予防と検知を優先しています。

順序はNISTのサイバーセキュリティフレームワークに基づいています。
図のサイズは、サイバーレジリエンスへの投資割合を降順に表しています。



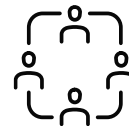
現実世界のサイバー攻撃からの教訓

バックアップは脆弱である



不変性とゼロトラストアクセス制御がなければ、バックアップは攻撃にさらされる

ITが断片化されている



複数のチーム、ツール、プロセスを含む複雑で異機種混在の環境

アイデンティティが攻撃を受けている



盗まれた資格情報、ソーシャルエンジニアリング(フィッシング)、ブルートフォース手法

ほとんどの人は準備ができてない



不十分な計画とテスト
攻撃中に何が起こるかを見通すことができない



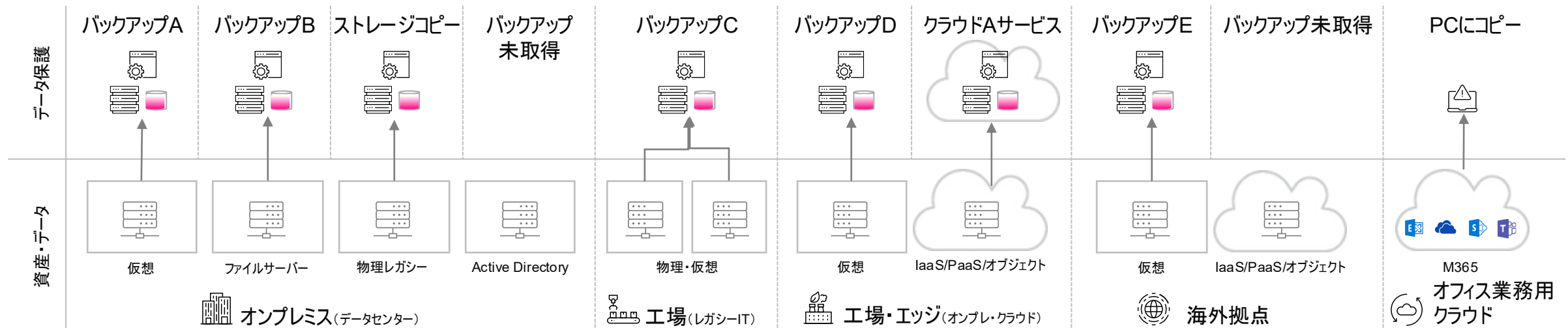
大手企業におけるサイバーレジリエンスの主要課題

例：製造業 復旧の遅れは、売上損失・ブランド毀損・サプライチェーン混乱に直結

⚠ サイバー攻撃対象、
保護対象が拡大

⚠ 従来方式、バラバラ
のバックアップ・システム

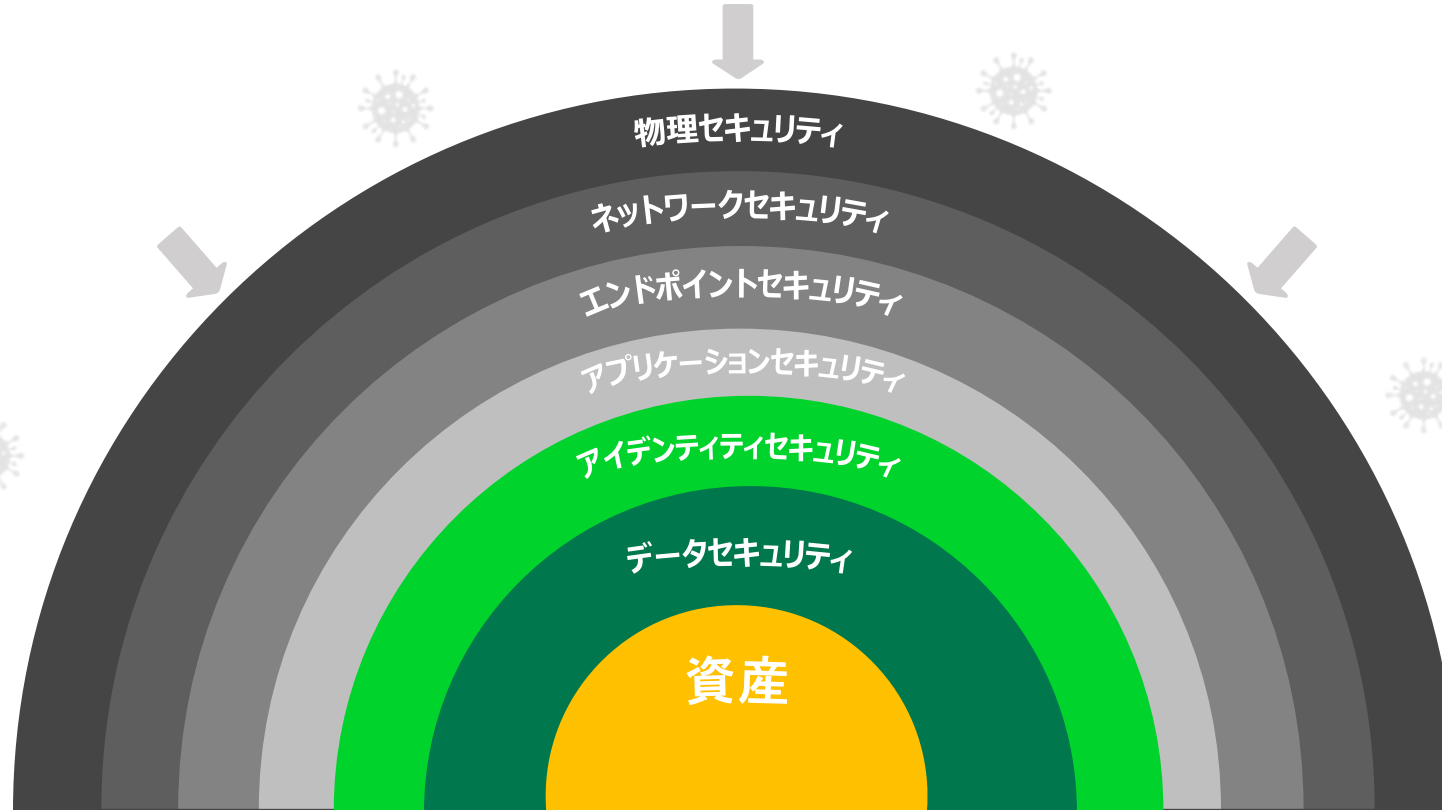
⚠ サイバー攻撃を想定
してない復旧準備方式



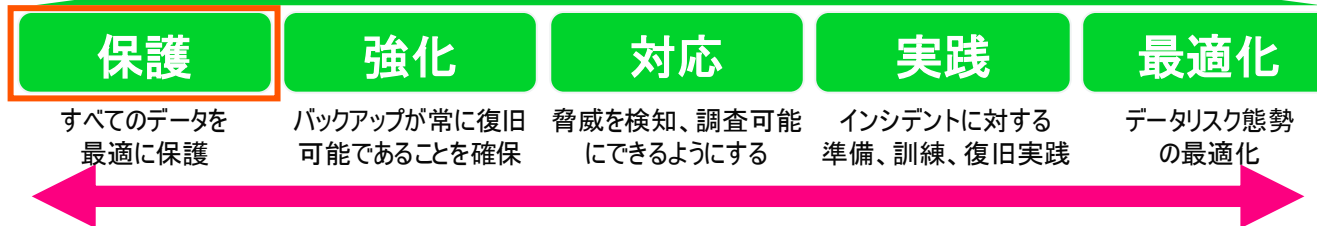
本日の内容

1. AIを活用したデータセキュリティのリーダー
コヒシティとは？
2. 企業が直面する復旧できない現実、教訓
- 3. サイバーレジリエンスを強化するための具体的な
アプローチ**
4. サイバーレジリエンスのその先へ
AI時代に考慮すべきレジリエンス戦略

従来のバックアップとサイバーレジリエンスの違いとは

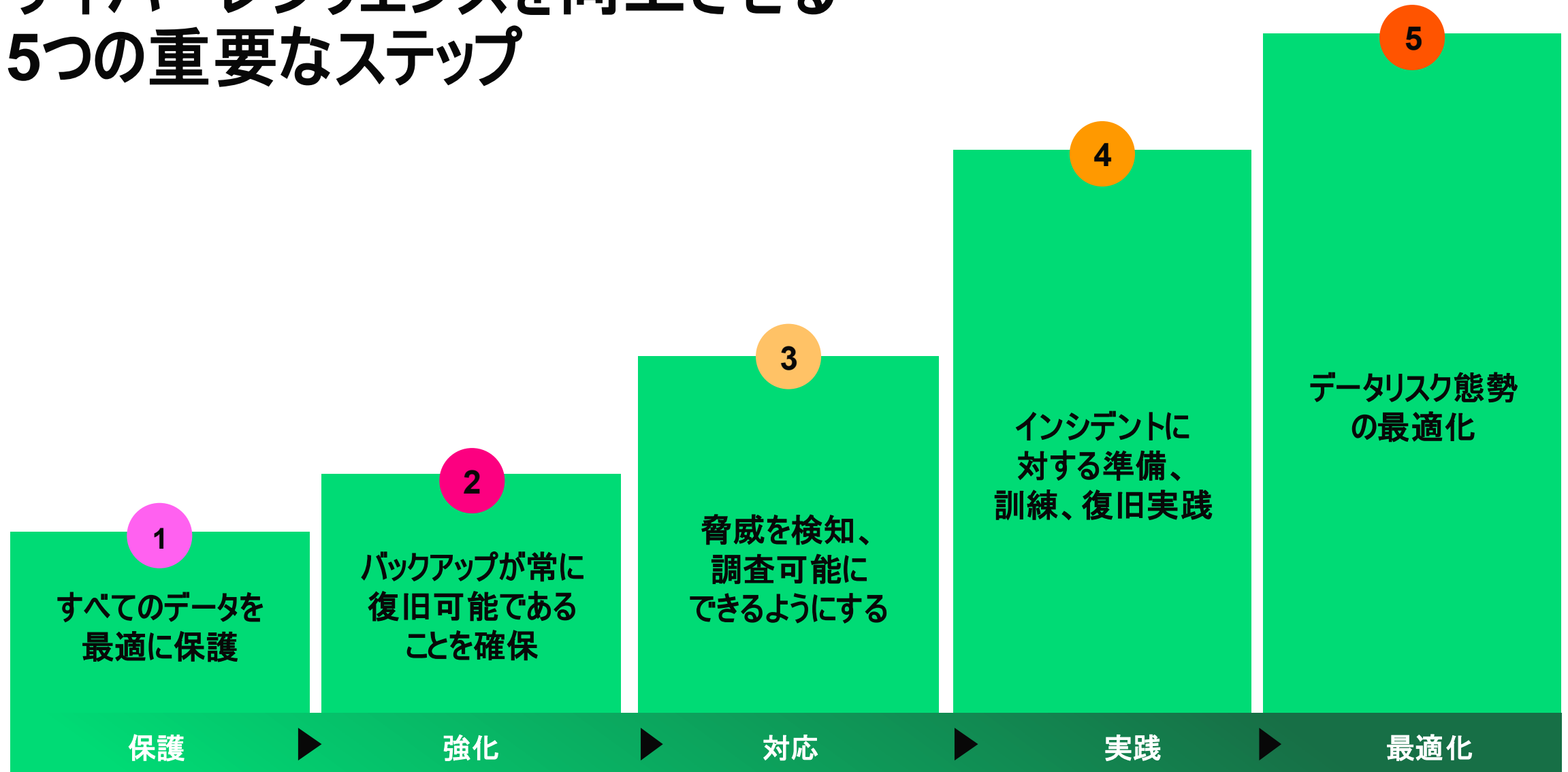


従来のバックアップ



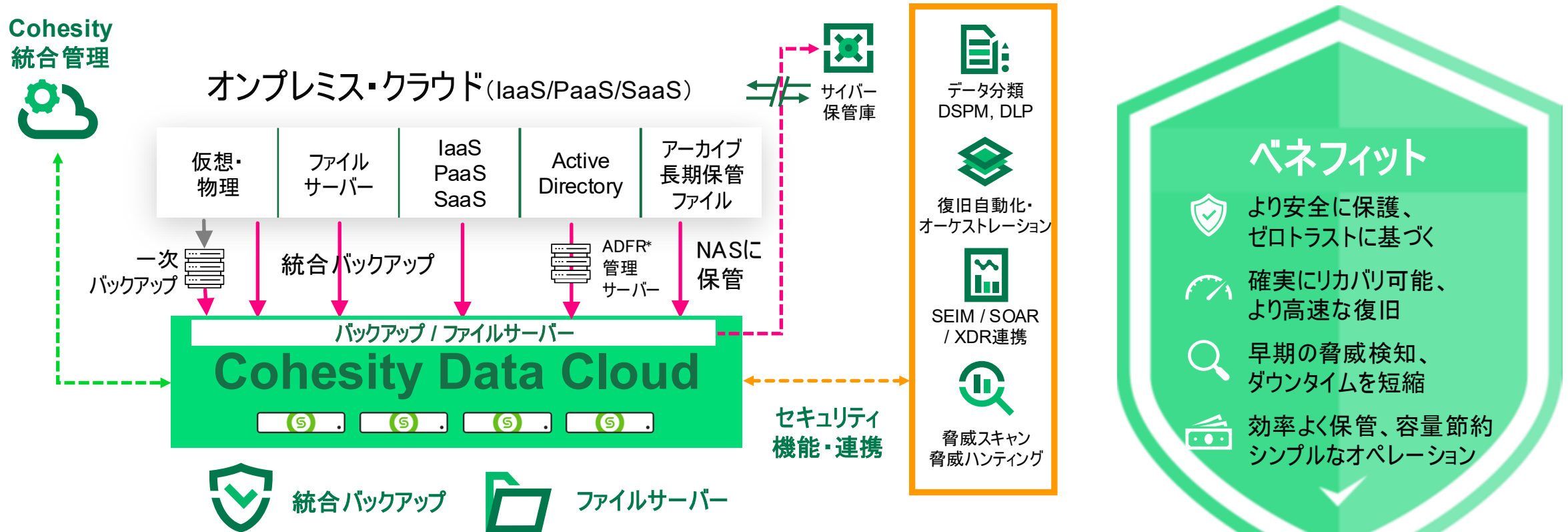
サイバーレジリエンス

サイバーレジリエンスを向上させる 5つの重要なステップ



Cohesity によるサイバーレジリエンス強化の方法

Cohesity Data Cloud による統合型サイバーレジリエンスソリューション



ベネフィット

- より安全に保護、ゼロトラストに基づく
- 確実にリカバリ可能、より高速な復旧
- 早期の脅威検知、ダウンタイムを短縮
- 効率よく保管、容量節約
シンプルなオペレーション

1 保護

医療情報システムのすべてのデータを最適に保護

2 強化

バックアップが常に復旧可能であることを確保

3 対応

脅威を検知、調査可能にできるようにする

4 実践

インシデントに対する準備、訓練、復旧実践

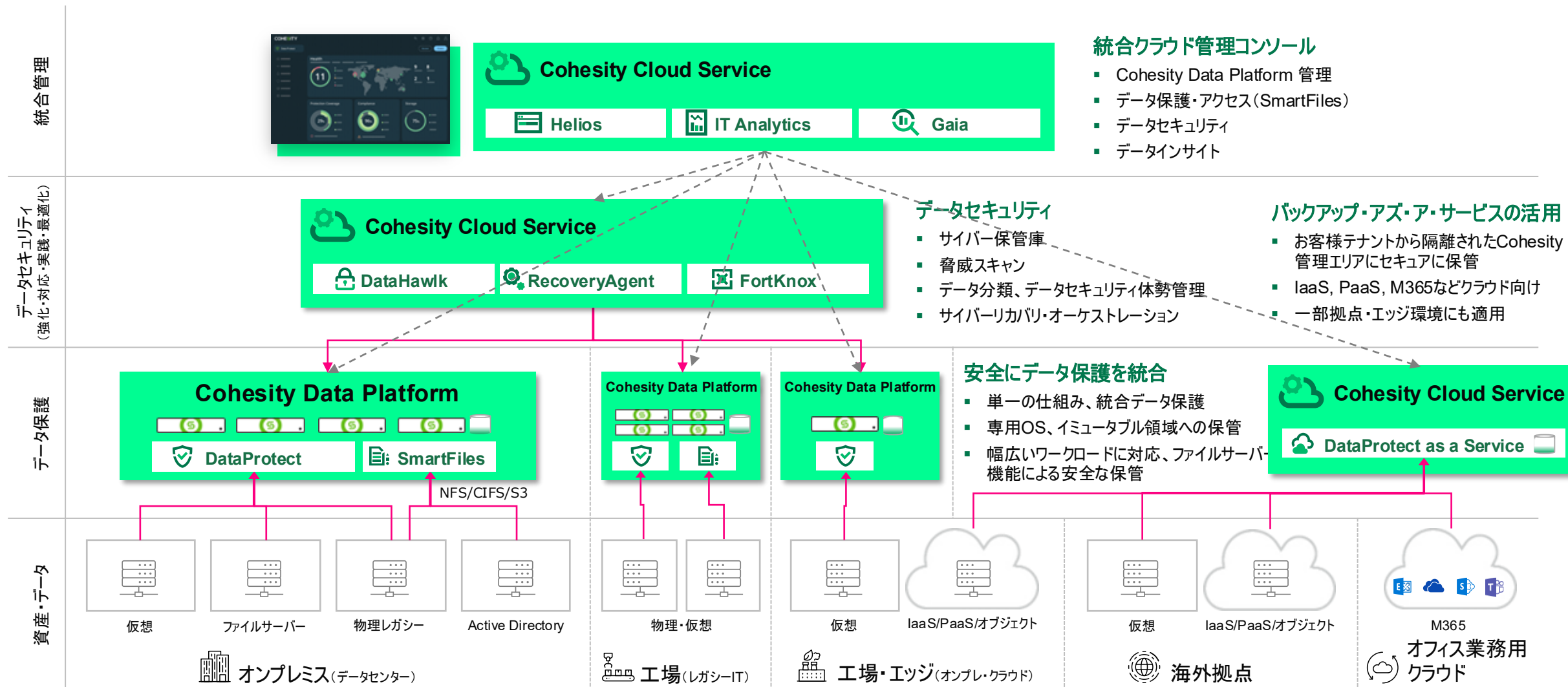
5 最適化

データ盗難のリスクを軽減

* ADFR: Active Directory Forest Recovery

Cohesity によるサイバーレジリエンス強化の方法

データ保護とセキュリティを統合し、安全・確実・迅速に復旧できる状態にする



本日の内容

1. AIを活用したデータセキュリティのリーダーコヒシティとは？
2. 企業が直面する復旧できない現実、教訓
3. サイバーレジリエンスを強化するための具体的なアプローチ
- 4. サイバーレジリエンスのその先へ
AI時代に考慮すべきレジリエンス戦略**

AI導入が加速することで生まれる新たなリスク

イノベーションのペースがリスクを許容できるレベルを上回る

■ AI導入の加速が生み出す企業にとっての新たな課題

AIや自動化によって企業が変革される中、多くの企業・組織はAIプロジェクトがリスク許容度を超えるペースで進展している。

■ 広範囲にリスクが拡大

AIエージェントは複数システムを横断して実行し、誤判断や悪意あるプロンプトで大規模な影響を及ぼす。

■ AIにまつわるインシデント対応の限界

エージェント停止だけでは不十分で、監査と復旧が伴わなければ事業は正常に戻らない。

■ 信頼性の重要性

AI活用成功には信頼できるデータと運用が不可欠で、監視、ガバナンス、復旧を一体化し、迅速な状態に復旧できる運用が必要に。



エンタープライズAIレジリエンス戦略

AIインフラストラクチャ防御とエージェントリスク対策を両立し、信頼できる企業データで安全なAI活用基盤が必要に

Cohesity Data Cloud



データインサイト

生成AIのために非構造化データから安全に価値を引き出す



データセキュリティ

サイバー攻撃から迅速に立ち直り、データリスクを低減



データ保護

すべてのデータを保護し、迅速な復旧を実現

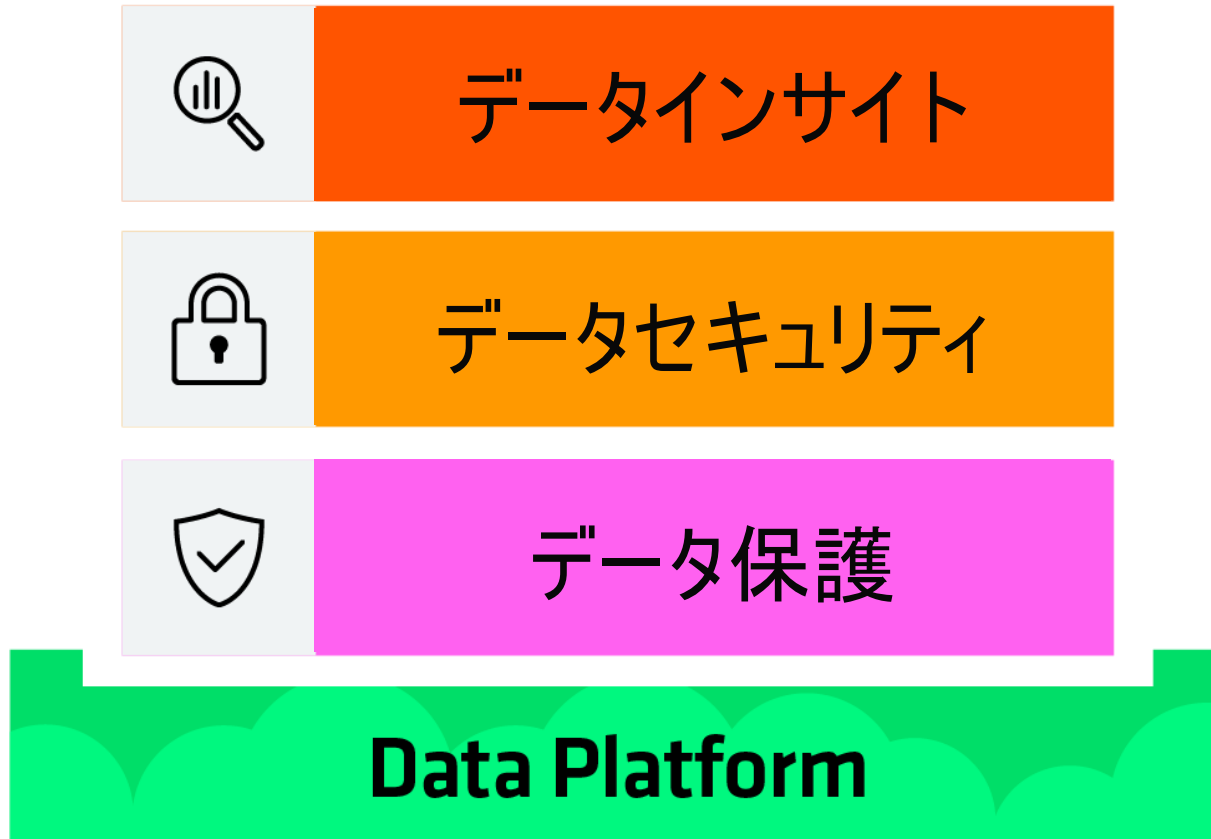
Data Platform

すべてのデータを効率的・安全に管理し、アプリをデータに届けるプラットフォーム

エンタープライズAIレジリエンス戦略

サイバーレジリエンスによる“防御”から、“AI-Ready”データ基盤として活用

Cohesity Data Cloud



- AI用に信頼のエンタープライズデータを有効化

“活用”へ

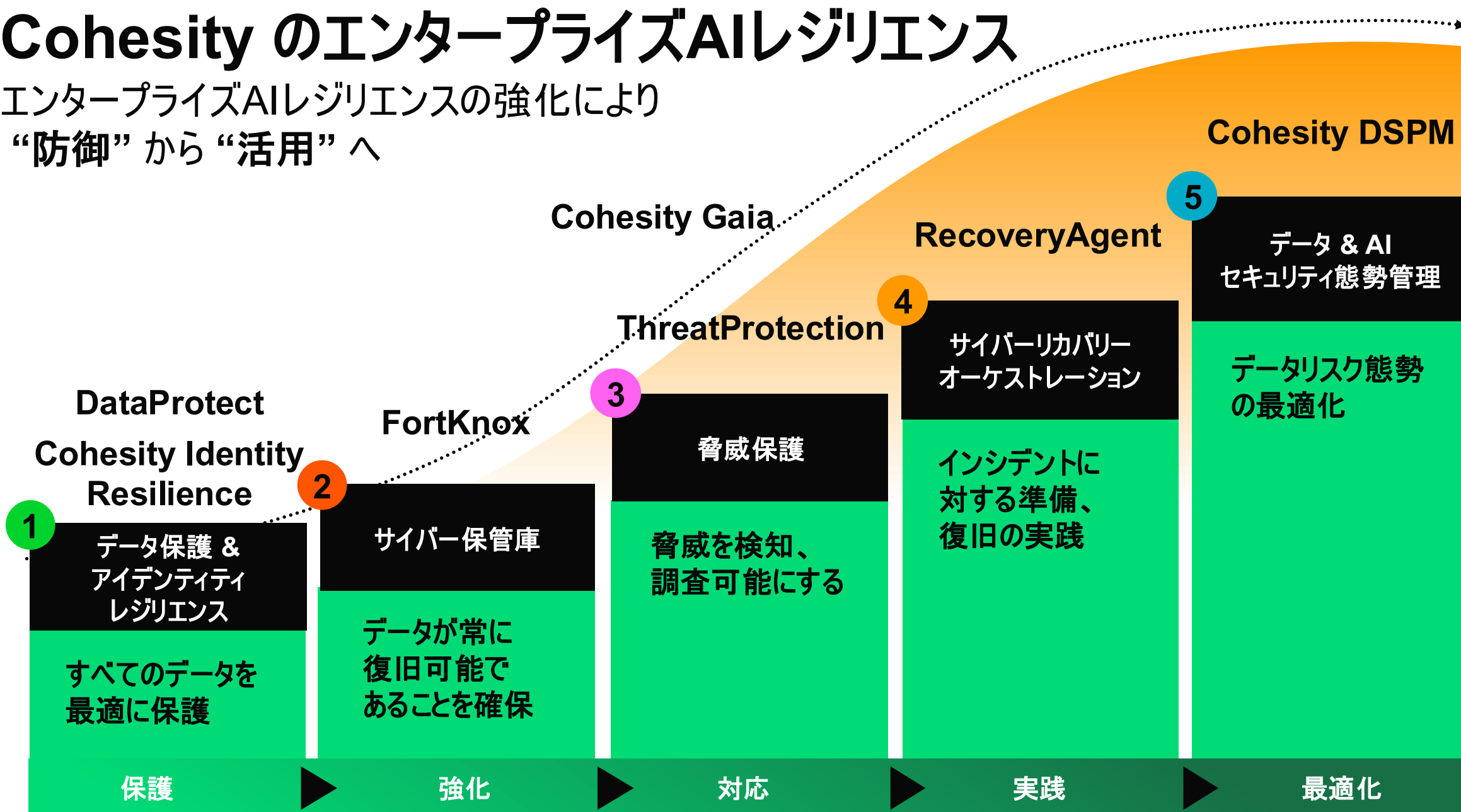
- AIおよびエージェントインフラストラクチャの保護
- AIエージェント・リスクの軽減
- AI用の機密データの管理(ガバナンス)

“防御”から

Cohesity のエンタープライズAIレジリエンス

エンタープライズAIレジリエンスの強化により

“防御” から “活用” へ



COHESITY CATALYST ON TOUR

7月1日 東京開催決定！ぜひお越しください！

The banner features a woman's profile in the background, looking towards the right. The text 'COHESITY CATALYST' is prominently displayed in large, bold, black letters. Below it, 'ON TOUR' is written in a smaller, bold, black font with three vertical lines to the left. At the bottom, there are three colored boxes (orange, pink, and purple) containing the event locations and dates: 'NEW YORK CITY March 10', 'SINGAPORE March 11', and 'PARIS March 12'.

COHESITY
CATALYST
ON TOUR

NEW YORK CITY
March 10

SINGAPORE
March 11

PARIS
March 12

- 2026年3月10～12日
ニューヨーク、シンガポール、
パリで開催
- **2026年7月1日東京開催**
- データセキュリティ、
サイバーレジリエンスと
“AI-Ready” エンタープライズ
データの融合

*予告なく変更する可能性があります。

THANK YOU

cohesity.com/ja-jp/

コヒシティジャパン合同会社

COHESITY

© 2026 Cohesity, Inc. All rights reserved. Cohesity, the Cohesity logo, SnapTree, SpanFS, DataPlatform, DataProtect, Helios, the Helios logo, DataGovern, SteContinuity, DataHawk, and other Cohesity marks are trademarks or registered trademarks of Cohesity, Inc. in the US and/or internationally. Other company and product names may be trademarks of the respective companies with which they are associated. This material (a) is intended to provide you information about Cohesity and our business and products; (b) was believed to be true and accurate at the time it was written, but is subject to change without notice; and (c) is provided on an "AS IS" basis. Cohesity disclaims all express or implied conditions, representations, warranties of any kind.